

令和8年8月6日

四国地方整備局

防災道の駅「貞光ゆうゆう館」「滝宮」「天空の郷さんさん」より

被災地へ防災用コンテナ型トイレを追加派遣

～令和8年熊本地震における被災地への支援～

令和8年7月28日に発生した熊本地震の被災地支援のため、四国地方整備局より、防災道の駅「貞光ゆうゆう館」（徳島県美馬郡つるぎ町）、「滝宮」（香川県綾歌郡綾川町）、及び「天空の郷さんさん」（愛媛県上浮穴郡久万高原町）に設置している防災用コンテナ型トイレを、被災地である熊本県へ追加で派遣します。今後も、被災自治体のニーズを的確に把握し、プッシュ型で支援してまいります。

1. 設置場所等

○道の駅「あぐり窪川」 → 熊本県氷川町（竜北グラウンド）
〔8月2日（日）より運用開始済み〕

【追加派遣】

○道の駅「貞光ゆうゆう館」 → 熊本県（現時点では派遣調整中）
〔8月8日（土）10時30分出発、到着日時は未定〕

○道の駅「滝宮」 → 熊本県（現時点では派遣調整中）
〔8月7日（金）17時出発、到着日時は未定〕

○道の駅「天空の郷さんさん」 → 熊本県（現時点では派遣調整中）
〔8月7日（金）14時出発、到着日時は未定〕

※出発当日は、現地にて出発式を開催する予定です。

※出発及び到着日時、派遣先は現時点調整中であり、状況によって変わる可能性があります。

※本施策は、四国圏広域地方計画「7.1 他圏域との連携プロジェクト」に該当します。

【問い合わせ先】

国土交通省 四国地方整備局

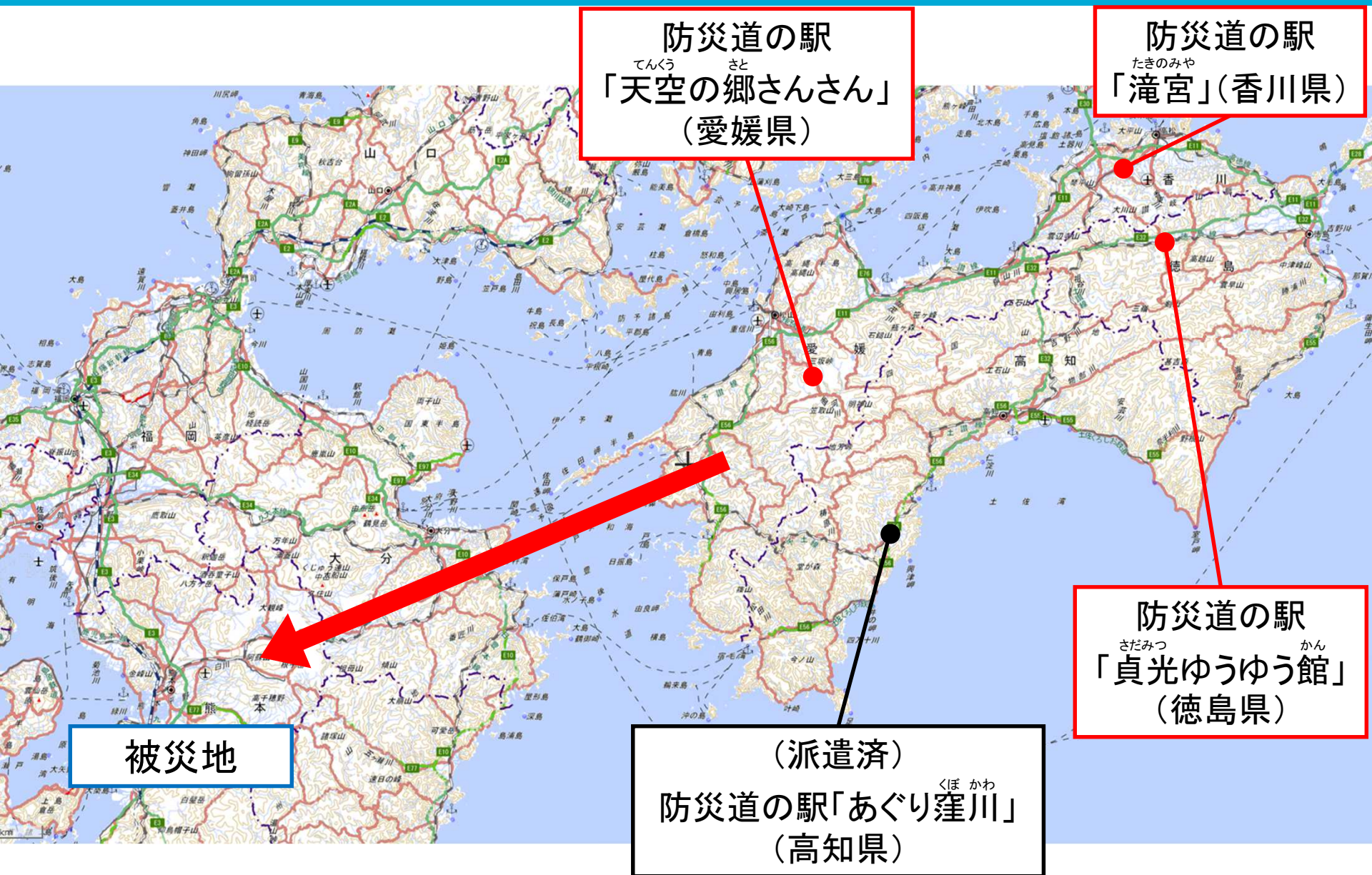
道路部 交通対策課

課長 水野 匡洋 （内線4511）

課長補佐 ○藤原 浩史 （内線4512）

TEL（087）811－8351（直通）

○：主たる問い合わせ先



道の駅「あぐり窪川」

○7月31日(金)16時30分頃、防災道の駅「あぐり窪川」から出発

○8月2日(日)熊本県氷川町竜北グラウンドに設置済み

搬送作業状況(道の駅あぐり窪川)



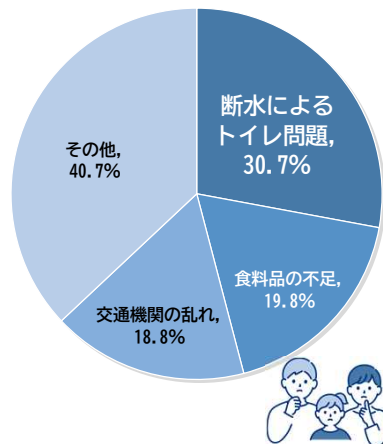
設置状況(熊本県氷川町竜北グラウンド)



四国道の駅 防災用コンテナトイレ

災害時でも
快適・清潔・自立

災害時の最も困ること（被災者アンケート調査）



災害時の「トイレ問題」

- 1 発災後3時間で深刻化
- 2 仮設トイレは、設置遅延・衛生問題
- 3 排泄我慢→健康被害（災害関連死）
- 4 女性・高齢者の利用困難 = 「命と尊厳」に直結する課題

コンテナトイレが解決

～だれでも安心して使えるトイレ環境を実現～

- 1 上下水道への接続不要
- 2 設置後即日利用可能
- 3 水洗式・男女分離
- 4 太陽光発電・蓄電池搭載・商用電源接続可

5年に1回のメンテナンス

※平成30年7月豪雨に関するアンケート調査：
<https://www.prdesse.com/posts/view/16955>



コンテナトイレの3つの特徴

1 災害時1日
最大**2000回**
利用可能



2 1日**100回**程度の
利用なら回収なく
継続利用可能



3 通常の仮設トイレ
7～8基分の
処理能力



平常時×災害時のデュアルユース



道の駅
観光拠点

平常時



公園
キャンプ場
建設現場

使いながら備える
持続モデル



避難所

災害時



支援拠点

復旧作業拠点

システム構成

コンテナ本体



トイレユニット 水洗トイレ



処理システム 循環運転



電源

太陽光発電/蓄電池/商用接続可



コンテナトイレは1日100回程度のトイレ利用の場合は循環運転によりバキュームカーによる回収なく継続利用可能。

利用までの流れ

1 設置
(トラック搬送)



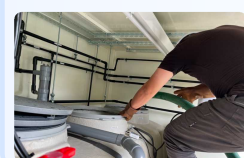
2 設営
(コンテナ設置・電源接続)



3 即時利用



4 維持管理
(清掃・水補充)



能登半島地震における活用事例

2024年1月12日より

被災地に派遣

穴水（穴水町）

うきは
(福岡県うきは市)



トラックで陸路運搬

災害時に
即展開

道の駅「うきは」を出発



設置作業の状況